

発刊の辞

相愛学園長 今小路 覚 瑞

本年（昭和四十八年）は浄土真宗の開祖親鸞聖人が生誕一二七三年 承安三年―されて八百年に当る。と同時に、浄土真宗の真髓を開顕された主著「教行信証文類」が成立し、立教の基礎が打ち建てられてから丁度七百五十年になるのであって、吾等浄土真宗の信仰に生きるものにとっては、まことに大きな記念すべき歳である。

わが相愛学園は浄土真宗本願派本願寺第二十一世宗主である明如上人の発願に依って創建され、その本願は「宗祖親鸞聖人の体得された信仰に基き有為淑徳の女性の育成」にあった。この建学の精神は学園の存続する限り確固不動の学園教学の信念としてゆるがすことは出来ないのである。

依って茲にこの因縁に基き、本年の論集も、聖人御生誕八百年立教開宗七百五十年の記念号として発刊する次第である。斯界の方々の御教示と御指導を賜り度く存ずる次第である。